質量分析インフォマティクス研究会 第4回ワークショップ(2019年)

データ科学が拡大する質量分析の地平線



開催日時 2019 年 3月19日 2019 年 3月30分~18時30分

開催場所 JST 東京本部別館 (K's 五番町ビル) 1 階ホール

東京都千代田区五番町 7 K's 五番町 最寄り駅: 市ヶ谷駅(JR 中央本線/東京地下鉄(東京メトロ)有楽町線/都営地下鉄新宿線)

※JST 東京本部本館(サイエンスプラザ)とは異なりますのでご注意ください

参加費 無料 (要・事前参加登録)



招待講演

(50 音順・敬称略)

【グライコプロテオミクス】小川 光貴・岡島徹也(名古屋大・医) 「グライコプロテオミクスにより明らかになった Notch1 受容体上の O-GlcNAc glycan の糖鎖構造多様性」

【ChIP-Seq】沖 真弥 (九州大·医)

「公共 ChIP-seq データをフル活用し、遺伝性疾患の解明や創薬に挑む」

【ケモインフォマティクス】小寺 正明(東京大・工)

「複雑骨格物質の生合成単位予測」

【代謝工学】野田 修平 (理研·CSRS)

「有用バルクケミカル合成大腸菌プラットホーム開発における質量分析機器の活用」

【メタボロミクス】福島 敦史(理研・CSRS)

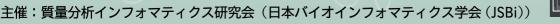
「質量分析を用いた植物メタボロミクスデータの情報解析と共有し

【プロテオミクス】吉崎 尚良(金沢医科大・医)

「公共データベースを利用したリン酸化シグナル伝達経路の研究」

参加登録 http://ms-bio.info/2019ws.html







協賛:JST/NBDC 統合化推進プログラム「エピゲノミクス統合データベースの開発と機能拡充」(https://chip-atlas.org/)